実施計画事業調書

令和６年度（決算）　　街づくり分科会Ｂ

事業名	既存民間建築物耐震診断・改修補助事業

１．基礎情報

所属	都市経営部	都市政策課	

予算科目				総合戦略	
	会計	01	一般会計		1危機管理の徹底(2)減災の推進
	款	07	土木費		
	項	03	都市計画費		
	目	01	都市計画総務費	分野別計画	大東市住宅・建築物耐震改修促進計画
	事業	0104	既存民間建築物耐震診断・改修補助事業		
分類		Ⅰ類事業			

関連するSDGs 17の目標	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ｼﾞｪﾝﾀﾞｰ	6水・衛生	7ｴﾈﾙｷﾞｰ	8経済成長と雇用	9ｲﾝﾌﾗ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							

２．内容

事業概要（全体）	大東市住宅・建築物耐震改修促進計画（平成28年度～令和7年度の10年間）に基づき、大地震から市民の生命や財産を守るために、住宅・建築物の耐震化を促進する。	事業概要（今年度）	大阪府まちまるごと耐震化推進事業登録事業者と連携した木造戸建て住宅の耐震化促進に係る戸別訪問を実施するとともに、補助事業（耐震診断・耐震設計・耐震改修工事・除却）を実施し、地震ハザードマップの修正を行った。
スケジュール（全体）	・H20年度　耐震診断補助制度の施行 ・H22年度　耐震設計・耐震改修工事補助制度の施行、地震ハザードマップの作成 ・H30年度　除却補助制度の施行 ・R6年度　地震ハザードマップの修正 ・R6年度～　木造戸建て住宅の耐震化促進に係る戸別訪問 ・R7年度　大東市住宅・建築物耐震改修促進計画の見直し	スケジュール（今年度）	・4月　広報だいとう4月号に補助制度案内記事の掲載 ・4月～　補助事業の実施 ・5月～　木造戸建て住宅の耐震化促進に係る戸別訪問 ・5月～　地震ハザードマップ修正業務

公民連携の視点	要件	□　ア（複数課題解決）　□　イ（地域価値向上）　□　ウ（地域経済発展） □　エ（公的負担軽減）　□　オ（自立的・持続可能）
	検討内容	大東市公民連携に関する条例第2条の規定に該当する項目がないため。

３．事業費等

区分			令和４年度（決算）		令和５年度（決算）		令和６年度（決算）	
事業費	内訳	報償費		0		0		0
		旅費		0		0		0
		需用費		0		0		0
		役務費		0		0		0
		委託料		0		0		998
		使用料及び賃借料		4		9		0
		工事請負費		0		0		0
		公有財産購入費		0		0		0
		備品購入費		0		0		0
		負担金補助及び交付金		15,627		8,550		18,400
		扶助費		0		0		0
		補償補填及び賠償金		0		0		0
		その他		0		0		0
	事業費計（千円） a			15,631		8,559		19,398
	財源内訳	国庫支出金		7,772		4,275		8,178
		府支出金		631		187		1,600
		市債		0		0		0
		その他		0		0		997
		うち基金繰入金		0		0		997
		一般財源		7,228		4,097		8,623
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	1.00	7,574	1.00	7,877	1.00	8,238
		再任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		退職手当引当金繰入額		523		575		540
		その他		0		0		0
	人件費計（千円） b			8,097		8,452		8,778
総事業費 a+b				23,728		17,011		28,176

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		平成27年度	令和7年度	
住宅の耐震化	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	80%	95%	大東市住宅・建築物耐震改修促進計画

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
			目標値					
指標①	耐震診断補助金の申込件数	成果	令和6年度	戸	目標	44	30	30
			30		実績	13	15	84
	指標の定義	交付申込があった件数						
指標②	耐震設計・改修補助金の申込件数	成果	令和6年度	戸	目標	①6②8	①4②5	①4②5
			①4②5		実績	①3②3	①0②0	①4②4
	指標の定義	①設計補助金②改修補助金の交付申込があった件数						
指標③	除却補助金の申込件数	成果	令和6年度	戸	目標	50	55	55
			55		実績	40	24	34
	指標の定義	交付申込があった件数						

５．総括　※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	戸別訪問を実施したことにより、耐震診断の申込件数が大幅に増えたことは一定の成果が表れているが、耐震診断後すべての方が耐震改修するに至っていないため、今後も継続して耐震化に向けた本事業の推進を行う。

実施計画事業調書

令和６年度（決算）　　街づくり分科会Ｂ

事業名	まちづくり調査検討事業

１．基礎情報

所属	都市経営部	都市政策課	

予算科目				総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出(1)都市構造の改革
	会計	01	一般会計		
	款	07	土木費		
	項	03	都市計画費		
	目	01	都市計画総務費	分野別計画	大東市都市計画マスタープラン
	事業	0102	まちづくり調査検討事業		大東市住宅マスタープラン
分類	Ⅰ類事業				

関連するSDGs 17の目標	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ｼﾞｪﾝﾀﾞｰ	6水・衛生	7ｴﾈﾙｷﾞｰ	8経済成長と雇用	9ｲﾝﾌﾗ等
							○		
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○	○			○		○	

２．内容

事業概要（全体）	住道駅周辺及び野崎駅周辺において、新たな賑わいを創出・維持発展させ、エリア価値の向上を実現させるために、地域課題を分析し、官民連携で戦術的なまちづくりに取り組む。	事業概要（今年度）	・住道駅周辺については、周辺エリアが持つポテンシャルを最大限に活かし、都市を再生させるための検討を行うため、地域の特性の現状分析等を行った。 ・野崎駅周辺については、未利用地など公共空間を利活用した具体的な取組等を検討した。
スケジュール（全体）	・R5年度～　野崎駅周辺のエリア価値向上に向けたまちづくり推進業務 ・R6年度～　住道駅周辺のエリア価値向上に向けたまちづくり推進業務	スケジュール（今年度）	・7月～　住道駅周辺等活性化応援団コーディネート業務 ・7月～　住道駅前デッキデザイン調整会議支援業務 ・8月～　野崎駅周辺エリアの地域価値向上に向けたまちづくり推進業務 ・9月～　住道駅周辺活性化業務 ・11月～　住道駅周辺官民まちなか再生推進業務

公民連携の視点		
	要件	□　ア（複数課題解決）　■　イ（地域価値向上）　□　ウ（地域経済発展） □　エ（公的負担軽減）　□　オ（自立的・持続可能）
	検討内容	民間の視点に立った総合的・独創的な企画立案が求められるため、行政と民間等が役割を分担しながら公共空間を利用した地域活性化・賑わい創出に取り組む。

３．事業費等

区分			令和４年度（決算）		令和５年度（決算）		令和６年度（決算）	
事業費	内訳	報償費		0		0		0
		旅費		0		0		0
		需用費		376		0		0
		役務費		0		0		0
		委託料		31,533		14,157		11,056
		使用料及び賃借料		0		0		0
		工事請負費		0		0		0
		公有財産購入費		0		0		0
		備品購入費		0		0		0
		負担金補助及び交付金		0		0		0
		扶助費		0		0		0
		補償補填及び賠償金		0		0		0
		その他		0		0		0
	事業費計（千円） a			31,909		14,157		11,056
	財源内訳	国庫支出金		0		0		2,500
		府支出金		0		0		0
		市債		0		0		0
		その他		25,460		11,017		6,973
		うち基金繰入金		14,832		8,105		6,973
		一般財源		6,449		3,140		1,583
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	3.00	22,722	2.00	15,754	3.00	24,714
		再任用職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		退職手当引当金繰入額		1,569		1,150		1,620
		その他		152		0		0
	人件費計（千円） b			24,443		16,904		26,334
総事業費 a+b				56,352		31,061		37,390

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次 / 目標値	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
指標①	計画策定の進捗	活動	令和6年度	%	目標	100	100	100
			100		実績	100	100	100
	指標の定義	計画策定の進捗割合						
指標②	応援団の認定数	成果	令和6年度	団体	目標	－	11	15
			15		実績	－	11	17
	指標の定義	住道駅周辺等活性化応援団の認定数						
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括　※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	住道駅周辺については、官民の多様な人材が参画するエリアプラットフォームを構築した。今後、民間事業者等と連携して将来像が共有できる未来ビジョンを策定し、持続的なまちづくりに向けた取組みを推進する。 野崎駅周辺については、エリア価値向上に向け、将来的な地域運営のあり方を地域住民や関係団体と共に検討し、持続的なまちづくりに向けた取組みを推進する。

実施計画事業調書

令和６年度（決算）　　街づくり分科会Ｂ

事業名	空家等対策推進事業

１．基礎情報

所属	都市経営部	都市政策課	

予算科目				総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出(3)老朽施設の再編とあわせたエリア再生
	会計	01	一般会計		
	款	07	土木費		
	項	03	都市計画費		
	目	01	都市計画総務費	分野別計画	大東市空家等対策計画
	事業	0100	空家等対策推進事業		
分類	Ⅰ類事業				

関連するSDGs 17の目標	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ｼﾞｪﾝﾀﾞｰ	6水・衛生	7ｴﾈﾙｷﾞｰ	8経済成長と雇用	9ｲﾝﾌﾗ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○	○						

２．内容

事業概要（全体）	空家等対策の推進に関する特別措置法及び大東市空家等対策計画（令和4年度～令和8年度の5年間）に基づき、地域の良好な生活環境の保全や都市の活力向上のために、総合的かつ計画的に空家等対策を推進する。	事業概要（今年度）	補助事業（隣接地等取得費補助・空家リフォーム補助・子育て世代空家リフォーム補助）及び空家所有者の意向調査・意識啓発を実施し、並びに空家セミナー＆相談会及び空家等対策協議会を開催した。
スケジュール（全体）	・H29年度　隣接地等取得費補助制度の施行 ・H30年度　空家リフォーム補助制度の施行 ・R3年度　子育て世代空家リフォーム補助制度の施行 ・R5～R6年度　空家所有者への意向調査・意識啓発 ・R7年度　空家流通促進補助制度及び老朽危険空家等除却補助制度の施行 ・R8年度　大東市空家等対策計画の見直し	スケジュール（今年度）	・4月　広報だいとう4月号に補助制度案内記事の掲載 ・4月～　補助事業の実施 ・6月～　空家意向調査等業務 ・12月　空家セミナー＆相談会の開催 ・2月　空家等対策協議会の開催

公民連携の視点	要件	□　ア（複数課題解決）　□　イ（地域価値向上）　□　ウ（地域経済発展） □　エ（公的負担軽減）　□　オ（自立的・持続可能）
	検討内容	大東市公民連携に関する条例第2条の規定に該当する項目がないため。

３．事業費等

区分			令和４年度（決算）		令和５年度（決算）		令和６年度（決算）	
事業費	内訳	報償費		0		0		0
		旅費		0		0		0
		需用費		0		0		0
		役務費		0		0		0
		委託料		0		0		3,905
		使用料及び賃借料		11		0		14
		工事請負費		0		0		0
		公有財産購入費		0		0		0
		備品購入費		0		0		0
		負担金補助及び交付金		200		2,246		1,043
		扶助費		0		0		0
		補償補填及び賠償金		0		0		0
		その他		0		0		0
	事業費計（千円） a			211		2,246		4,962
	財源内訳	国庫支出金		0		0		0
		府支出金		0		0		0
		市債		0		0		0
		その他		0		0		3,905
		うち基金繰入金		0		0		3,905
		一般財源		211		2,246		1,057
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	1.00	7,574	1.00	7,877	1.00	8,238
		再任用職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		退職手当引当金繰入額		523		575		540
		その他		121		106		106
	人件費計（千円） b			8,218		8,558		8,884
総事業費 a+b				8,429		10,804		13,846

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次 / 目標値	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
指標①	リフォーム補助金の申込件数	成果	令和6年度	件	目標	2	2	2
			2		実績	1	1	4
	指標の定義	補助金の交付申込があった件数						
指標②	リフォーム補助金（子育て世代）の申込件数	成果	令和6年度	件	目標	2	2	2
			2		実績	0	2	0
	指標の定義	補助金の交付申込があった件数						
指標③	隣接地等取得費補助金の申込件数	成果	令和6年度	件	目標	6	3	6
			6		実績	0	1	1
	指標の定義	補助金の交付申込があった件数						

５．総括　※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	市民の生活環境に深刻な影響を及ぼす危険性がある空家等に関わる問題は、人口減少・超高齢化社会の到来により、一層深刻化することが懸念されることから、問題解決に向けたより効果的な補助制度への見直しを図り、今後も継続して本事業の推進を行う。

実施計画事業調書

令和６年度（決算）　　街づくり分科会Ｂ

事業名	景観形成推進事業

１．基礎情報

所属	都市経営部	都市政策課	

予算科目				総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出(4)都市空間の活用
	会計	01	一般会計		
	款	07	土木費		
	項	03	都市計画費		
	目	01	都市計画総務費	分野別計画	大東市景観計画
	事業	0107	景観形成推進事業		
分類		Ｉ類事業			

関連するSDGs 17の目標	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ｼﾞｪﾝﾀﾞｰ	6水・衛生	7ｴﾈﾙｷﾞｰ	8経済成長と雇用	9ｲﾝﾌﾗ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							

２．内容

事業概要（全体）	景観計画及び景観条例に基づき、市民が愛着や誇りを感じることができるように、本市が持つ特性と地域資源を活かした良好な景観の形成を推進する（平成31年度から事業実施）。	事業概要（今年度）	建築等の行為の事前の相談や事前協議等を行う際に、専門的な知識・経験を有するアドバイザーにより構成される景観アドバイザー会議の制度を活用することで、より質の高い建築物等のデザインを誘導していった。
スケジュール（全体）	・H31年度　景観行政団体へ移行 ・R元年度　景観計画・景観条例の施行 ・R3年度　景観アドバイザー会議の設置	スケジュール（今年度）	・5月　第1回景観アドバイザー会議の開催 ・6月　第2回景観アドバイザー会議の開催 ・12月　第3回景観アドバイザー会議の開催 ・2月　景観審議会の開催

公民連携の視点	要件	□　ア（複数課題解決）　□　イ（地域価値向上）　□　ウ（地域経済発展） □　エ（公的負担軽減）　□　オ（自立的・持続可能）
	検討内容	大東市公民連携に関する条例第2条の規定に該当する項目がないため。

３．事業費等

区分			令和４年度（決算）		令和５年度（決算）		令和６年度（決算）	
事業費	内訳	報償費		0		57		76
		旅費		0		2		2
		需用費		0		0		0
		役務費		0		0		0
		委託料		0		0		0
		使用料及び賃借料		0		0		0
		工事請負費		0		0		0
		公有財産購入費		0		0		0
		備品購入費		0		0		0
		負担金補助及び交付金		0		0		0
		扶助費		0		0		0
		補償補填及び賠償金		0		0		0
		その他		0		0		0
	事業費計（千円） a			0		59		78
	財源内訳	国庫支出金		0		0		0
		府支出金		0		0		0
		市債		0		0		0
		その他		0		0		0
		うち基金繰入金		0		0		0
		一般財源		0		59		78
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	1.00	7,574	1.00	7,877	1.00	8,238
		再任用職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		退職手当引当金繰入額		523		575		540
		その他		61		53		61
	人件費計（千円） b			8,158		8,505		8,839
総事業費 a+b				8,158		8,564		8,917

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次 / 目標値	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
指標①	「景観に配慮したまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	38	44	50
			54		実績	25	40.9	38.3
	指標の定義	市民アンケートで「景観に配慮したまち」に対し、「満足」「やや満足」と回答した人の割合						
指標②					目標			
					実績			
	指標の定義							
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括　※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	景観規則に基づき、景観アドバイザーから専門的な助言・指導を得ることで、良好な景観の形成に向けた取組みが実現できた。今後も継続して本制度の活用を行う。

実施計画事業調書

令和６年度（決算）　　街づくり分科会Ｂ

事業名	三世代家族推進事業

１．基礎情報

所属	都市経営部	都市政策課	

予算科目				総合戦略	5出産や子育ての安心と魅力の創出(1)個々の価値観に応じた出産・子育ての希望の実現
	会計	01	一般会計		
	款	07	土木費		
	項	03	都市計画費		
	目	01	都市計画総務費	分野別計画	
	事業	0105	三世代家族推進事業		
分類		Ⅰ類事業			

関連するSDGs 17の目標	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ｼﾞｪﾝﾀﾞｰ	6水・衛生	7ｴﾈﾙｷﾞｰ	8経済成長と雇用	9ｲﾝﾌﾗ等
			○						
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							

２．内容

事業概要（全体）	三世代の市内居住を支援することにより、親子が相互に支え合い、安心して暮らすことができるよう支援する（平成27年度から事業実施）。	事業概要（今年度）	子育て世代転入促進三世代同居等補助事業を実施した。
スケジュール（全体）	・H27年度　補助制度の施行（旧制度） ・R3年度　補助制度の施行（新制度）	スケジュール（今年度）	・4月　広報だいとう4月号に補助制度案内記事の掲載 ・4月～　補助事業の実施

公民連携の視点		
	要件	□　ア（複数課題解決）　□　イ（地域価値向上）　□　ウ（地域経済発展） □　エ（公的負担軽減）　□　オ（自立的・持続可能）
	検討内容	大東市公民連携に関する条例第2条の規定に該当する項目がないため。

３．事業費等

区分			令和４年度（決算）		令和５年度（決算）		令和６年度（決算）	
事業費	内訳	報償費		0		0		0
		旅費		0		0		0
		需用費		0		0		0
		役務費		0		0		0
		委託料		0		0		0
		使用料及び賃借料		0		0		0
		工事請負費		0		0		0
		公有財産購入費		0		0		0
		備品購入費		0		0		0
		負担金補助及び交付金		7,375		4,456		3,700
		扶助費		0		0		0
		補償補填及び賠償金		0		0		0
		その他		0		0		0
	事業費計（千円） a			7,375		4,456		3,700
	財源内訳	国庫支出金		0		0		0
		府支出金		0		0		0
		市債		0		0		0
		その他		0		0		0
		うち基金繰入金		0		0		0
		一般財源		7,375		4,456		3,700
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	1.00	7,574	1.00	7,877	1.00	8,238
		再任用職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		退職手当引当金繰入額		523		575		540
		その他		0		0		0
	人件費計（千円） b			8,097		8,452		8,778
総事業費 a+b				15,472		12,908		12,478

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次 / 目標値	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
指標①	補助金の申込件数	成果	令和6年度	件	目標	20	20	20
			20		実績	21	19	18
	指標の定義	三世代家族推進事業補助金の交付申込があった件数						
指標②					目標			
					実績			
	指標の定義							
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括　※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	高齢期・子育て期を安心して過ごせるよう支援することで、活力あるまちづくりの推進や地域経済の活性化に資することができた。次年度以降、より市民からの需要が高い効果的な補助制度への見直しを図る。

実施計画事業調書

令和６年度（決算）　　街づくり分科会Ｂ

事業名	がけ地近接等危険住宅移転補助事業

１．基礎情報

所属	都市整備部	開発指導課	

予算科目				総合戦略	1危機管理の徹底(2)減災の推進
	会計	01	一般会計		
	款	07	土木費		
	項	03	都市計画費		
	目	01	都市計画総務費	分野別計画	国土強靭化地域計画
	事業	0108	がけ地近接等危険住宅移転補助事業		
分類	Ⅰ類事業				

関連するSDGs 17の目標	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ｼﾞｪﾝﾀﾞｰ	6水・衛生	7ｴﾈﾙｷﾞｰ	8経済成長と雇用	9ｲﾝﾌﾗ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							

２．内容

事業概要（全体）	本市では「あふれる笑顔　幸せのまち大東づくり」を目標に、市民が笑顔で安心して安全に暮らすことのできるまちづくりに資するため、がけ地の崩落等により住民の生命に危険を及ぼす恐れのある区域に存する住宅の移転を促進するため、その住宅の除却等に要する経費及びその住宅に代わる住宅の建設に要する経費の一部を補助するものである。 【実施期間】 令和2年1月～	事業概要（今年度）	広報誌やホームページ等のSNSを活用し、補助制度の周知を図り、申し込みを募った。 国・大阪府が移転強化に向け補助制度を拡充したことを受け、市要綱を令和5年度に改正。拡充された内容により以下の通り運用を行った。 ・要綱適用　令和6年度から ・主な改正　除却費、引越等費用補助限度額拡充
スケジュール（全体）	令和2年1月　大東市崖地近接等危険住宅移転事業補助金交付要綱作成 令和2年度　申込募集 令和3年度　申込募集 令和4年度　申込募集 令和5年度　申込募集 大東市崖地近接等危険住宅移転事業補助金交付要綱改正（補助額拡充） 令和6年度　申込募集（補助制度拡充後の内容で募集）	スケジュール（今年度）	4月～　補助金の申込受付開始 ・補助制度拡充に伴う広報活動

公民連携の視点	要件	□　ア（複数課題解決）　□　イ（地域価値向上）　□　ウ（地域経済発展） □　エ（公的負担軽減）　□　オ（自立的・持続可能）
	検討内容	補助金事業であるため、公民連携手法にはそぐわない。

３．事業費等

区分			令和４年度（決算）		令和５年度（決算）		令和６年度（決算）	
事業費	内訳	報償費		0		0		0
		旅費		0		0		0
		需用費		0		0		0
		役務費		0		0		0
		委託料		0		0		0
		使用料及び賃借料		0		0		0
		工事請負費		0		0		0
		公有財産購入費		0		0		0
		備品購入費		0		0		0
		負担金補助及び交付金		0		0		0
		扶助費		0		0		0
		補償補填及び賠償金		0		0		0
		その他		0		0		0
	事業費計（千円） a			0		0		0
	財源内訳	国庫支出金		0		0		0
		府支出金		0		0		0
		市債		0		0		0
		その他		0		0		0
		うち基金繰入金		0		0		0
		一般財源		0		0		0
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	0.20	1,515	0.23	1,812	0.23	1,895
		再任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		退職手当引当金繰入額		105		132		124
		その他		0		0		0
	人件費計（千円） b			1,620		1,944		2,019
総事業費 a+b				1,620		1,944		2,019

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	24.7%	54%	市民アンケート

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次 / 目標値	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
指標①	補助制度の周知	活動	令和6年度	%	目標	100	100	100
			100		実績	100	100	100
	指標の定義	補助対象とされる土砂災害特別警戒区域内にある戸建住宅のうち、補助制度の周知がなされている割合						
指標②	補助利用件数	成果	令和6年度	件	目標	1	1	1
			1		実績	0	0	0
	指標の定義	がけ地近接等危険住宅移転事業補助金の交付申込があった件数						
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括　※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	申込には至らなかったが、補助額拡充等の周知活動による窓口相談等もあり、住宅移転の意識醸成に寄与した。今後は、より情報を伝わりやすい形で提供するために、ホームページやチラシを修正し、チラシ配付時期の見直しを行う。

実施計画事業調書

令和６年度（決算）　　街づくり分科会Ｂ

事業名	地域公共交通事業

１．基礎情報

所属	都市整備部	交通政策課	

予算科目				総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出(4)都市空間の活用
	会計	01	一般会計		
	款	07	土木費		
	項	02	道路橋りょう費		
	目	06	交通安全対策費	分野別計画	大東市公共交通基本計画
	事業	0102	地域公共交通事業		
分類		Ⅰ類事業			

関連するSDGs 17の目標	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ｼﾞｪﾝﾀﾞｰ	6水・衛生	7ｴﾈﾙｷﾞｰ	8経済成長と雇用	9ｲﾝﾌﾗ等
			○						
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
	○	○							

２．内容

事業概要（全体）	・市内において公共交通（コミュニティバス、乗合タクシーなど）を運行し、交通利便性を確保する。 ・市内における公共交通体系について、適正化・効率化のための見直しを検討する。	事業概要（今年度）	・市全域における公共交通再編のための調査の実施 ・コミュニティバス及び乗合タクシーを運行するための費用を支出した。 ・民間バス路線である阪奈生駒線の運行を維持するための補助金を交付した。
スケジュール（全体）	R4　東部地域乗合タクシーコース統合等改編 R5～　東部地域乗合タクシーコース統合等運行開始 継続的な運行方法の改良検討 市域全体の公共交通の検討に関わる基礎調査及び先進技術等の情報収集 路線再編の検討 ～R12 大東市公共交通基本計画の施策検証、見直しなど	スケジュール（今年度）	●地域公共交通事業 4月～　協賛金募集開始 9月～　コミュニティバス乗降客数調査の実施 10月～　高齢者の外出状況実態調査の実施 12月～　ボランタリ輸送実証実験の開始 随時　路線再編の検討 乗合率向上に向けた運行方法の改良検討 地域公共交通会議開催

公民連携の視点	要件	□　ア（複数課題解決）　□　イ（地域価値向上）　□　ウ（地域経済発展） □　エ（公的負担軽減）　□　オ（自立的・持続可能）
	検討内容	地域公共交通事業は、市民全域の公共交通の在り方について協議等を行い各地域の現状に即した公共交通を実施している。市が運行する公共交通については、民間バス事業者など、採算の取れない地域を運行しているため公民連携事業にそぐわない。

３．事業費等

区分			令和４年度（決算）		令和５年度（決算）		令和６年度（決算）	
事業費	内訳	報償費		0		0		0
		旅費		0		0		0
		需用費		651		320		35
		役務費		0		460		0
		委託料		176		2,772		1,309
		使用料及び賃借料		9		11		14
		工事請負費		0		0		0
		公有財産購入費		0		0		0
		備品購入費		77		0		0
		負担金補助及び交付金		83,015		102,789		83,570
		扶助費		0		0		0
		補償補填及び賠償金		0		0		0
		その他		0		0		0
	事業費計（千円） a			83,928		106,352		84,928
	財源内訳	国庫支出金		0		0		0
		府支出金		0		0		0
		市債		0		0		0
		その他		5,526		20,376		6,054
		うち基金繰入金		5,526		20,376		5,444
		一般財源		78,402		85,976		78,874
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	1.95	14,769	2.25	17,723	2.80	23,066
		再任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員（人・千円）	0.40	765	0.10	201	0.40	1,010
		退職手当引当金繰入額		1,020		1,294		1,512
		その他		296		91		91
	人件費計（千円） b			16,850		19,309		25,679
総事業費 a+b				100,778		125,661		110,607

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	15.4%	32%	市民アンケート

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次 / 目標値	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
指標①	コミュニティバス利用客数	成果	令和6年度	人	目標	143,700	161,200	179,000
			179,000		実績	164,402	175,010	180,187
	指標の定義	利用客数						
指標②	乗合タクシー利用客数	成果	令和6年度	人	目標	3,200	2,900	3,200
			3,200		実績	2,755	3,385	3,607
	指標の定義	利用客数						
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括　※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	令和6年度よりコミュニティバス等の協賛金を募集し、15件610,000円の協賛があり公費負担抑制へと繋がった。 また、コミュニティバスの利用者は過去最多の利用となったが、今後も更なる増加となるよう周知等の利用促進に努める。

実施計画事業調書

令和６年度（決算）　　街づくり分科会Ｂ

事業名	放置自転車対策事業

１．基礎情報

所属	都市整備部	交通政策課	

予算科目				総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出(4)都市空間の活用
	会計	01	一般会計		
	款	07	土木費		
	項	02	道路橋りょう費		
	目	07	自転車対策費	分野別計画	
	事業	0100	放置自転車対策事業		
分類		Ⅱ類事業			

関連するSDGs 17の目標									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ｼﾞｪﾝﾀﾞｰ	6水・衛生	7ｴﾈﾙｷﾞｰ	8経済成長と雇用	9ｲﾝﾌﾗ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							

２．内容

事業概要（全体）	大東市自転車等の放置防止に関する条例に基づき、JR3駅（住道・野崎・四条畷）周辺の自転車等放置禁止区域内において、市道等の通行環境を保持し、通行者の安全や駅前景観を確保する。	事業概要（今年度）	・放置自転車の所持者に対する啓発指導（放置自転車等に対する警告札の貼り付けなど） ・放置自転車等を放置禁止区域内から保管所まで移送 ・保管所に収容された放置自転車等の返還及び移送保管費用の徴収
スケジュール（全体）	毎年、年間を通じて放置自転車等の街頭啓発業務、移送業務、保管返還業務を実施することにより、駅周辺の良好な通行環境を維持する。	スケジュール（今年度）	通年　自転車等放置禁止区域内での街頭啓発業務や移送業務の実施 自転車保管所を開所し、自転車等の返還業務の実施

公民連携の視点	要件	□　ア（複数課題解決）　□　イ（地域価値向上）　□　ウ（地域経済発展） □　エ（公的負担軽減）　□　オ（自立的・持続可能）
	検討内容	放置自転車等の撤去に関しては、啓発・警告札、移送、保管・返還という流れになる。収入の面では返還業務のみであり、他の業務（啓発、移送）を賄うことができないので、公民連携事業にそぐわない。

３．事業費等

区分			令和４年度（決算）		令和５年度（決算）		令和６年度（決算）	
事業費	内訳	報償費		0		0		0
		旅費		0		0		0
		需用費		0		0		0
		役務費		0		0		0
		委託料		24,617		23,335		23,820
		使用料及び賃借料		0		0		0
		工事請負費		0		0		0
		公有財産購入費		0		0		0
		備品購入費		0		0		0
		負担金補助及び交付金		0		0		0
		扶助費		0		0		0
		補償補填及び賠償金		0		0		0
		その他		0		0		0
	事業費計（千円） a			24,617		23,335		23,820
	財源内訳	国庫支出金		0		0		0
		府支出金		0		0		0
		市債		0		0		0
		その他		1,631		1,382		1,872
		うち基金繰入金		0		0		0
		一般財源		22,986		21,953		21,948
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	0.41	3,105	0.54	4,254	0.60	4,943
		再任用職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員(人・千円)	0.40	765	0.25	502	0.35	883
		退職手当引当金繰入額		214		311		324
		その他		0		0		0
	人件費計（千円） b			4,084		5,067		6,150
総事業費 a+b				28,701		28,402		29,970

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	15.4%	32%	市民アンケート

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
			目標値					
指標①	放置自転車の減少	成果	令和6年度	台	目標	1,100	1,100	1,250
			1,250		実績	1,193	1,210	1,134
	指標の定義	撤去した放置自転車等の台数						
指標②					目標			
					実績			
	指標の定義							
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括　※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	放置自転車の撤去数は減少傾向にあるが、今後も街頭啓発業務及び移送業務を継続して実施し、駅周辺の良好な通行環境の維持に努める。

実施計画事業調書

令和６年度（決算）　　街づくり分科会Ｂ

事業名	橋梁長寿命化等修繕事業

１．基礎情報

所属	都市整備部	道路課	

予算科目				総合戦略	
	会計	01	一般会計		1危機管理の徹底(3)災害時における安心の確保
	款	07	土木費		
	項	02	道路橋りょう費		
	目	02	道路維持費	分野別計画	
	事業	0100	橋梁長寿命化等修繕事業		
分類		Ⅰ類事業			

関連するSDGs 17の目標									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ｼﾞｪﾝﾀﾞｰ	6水・衛生	7ｴﾈﾙｷﾞｰ	8経済成長と雇用	9ｲﾝﾌﾗ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							

２．内容

事業概要（全体）	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的に補修を実施し、維持管理費用の縮減を図る。	事業概要（今年度）	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁補修設計業務委託を行った。また、管理橋梁の不具合箇所の補修工事を実施した。
スケジュール（全体）	・市管理橋梁の修繕 ・市管理橋梁の点検(5年以内に1回)	スケジュール（今年度）	・深北大橋橋梁補修工事完了(1月) ・谷川2号線2号橋橋梁補修設計業務委託完了(1月) ・楠公橋橋梁補修設計業務委託完了(3月) ・太子田橋橋梁補修設計業務委託完了(3月) ・住道駅前広場及び住道駅前大橋予備設計業務委託完了(3月)

公民連携の視点		
	要件	□　ア（複数課題解決）　□　イ（地域価値向上）　□　ウ（地域経済発展） □　エ（公的負担軽減）　□　オ（自立的・持続可能）
	検討内容	橋梁長寿命化事業については、橋梁の補修工事等のハード整備のみの事業であり、民間事業者の創意工夫やアイデアを活かして、ソフト事業を実施して頂くフィールドを提供することが困難であることから、公民連携にはなじまない。

３．事業費等

区分			令和４年度（決算）		令和５年度（決算）		令和６年度（決算）	
事業費	内訳	報償費		0		0		0
		旅費		0		0		0
		需用費		0		0		0
		役務費		0		0		0
		委託料		8,343		5,519		25,107
		使用料及び賃借料		0		0		0
		工事請負費		47,151		5,883		56,978
		公有財産購入費		0		0		0
		備品購入費		0		0		0
		負担金補助及び交付金		31,854		28,483		0
		扶助費		0		0		0
		補償補填及び賠償金		0		0		0
		その他		0		0		0
	事業費計（千円） a			87,348		39,885		82,085
	財源内訳	国庫支出金		41,455		8,129		5,060
		府支出金		0		0		0
		市債		17,200		0		3,600
		その他		28,691		31,754		73,424
		うち基金繰入金		28,691		31,754		73,424
		一般財源		2		2		1
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	0.65	4,923	0.65	5,120	0.65	5,355
		再任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		退職手当引当金繰入額		340		374		351
		その他		0		0		0
	人件費計（千円） b			5,263		5,494		5,706
総事業費 a+b				92,611		45,379		87,791

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	24.7%	54%	市民アンケート

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
			目標値					
指標①	単年度達成率（事業費ベース）	活動	令和6年度	%	目標	100	100	100
			100		実績	87	90	92
	指標の定義	単年度における事業の達成率						
指標②	「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	36.4	42.3	48.1
			54		実績	36.1	39.3	34.5
	指標の定義	「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度						
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括　※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	令和6年度に予定していた事業については、予定通りに進捗した。 管理橋梁の高齢化により維持補修費の増加が見込まれるため、長寿命化計画に基づき補修工事を実施することで、維持管理費の平準化に努める。

実施計画事業調書

令和６年度（決算）　　街づくり分科会Ｂ

事業名	道路新設改良事業

１．基礎情報

所属	都市整備部	道路課	

予算科目				総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出(4)都市空間の活用
	会計	01	一般会計		
	款	07	土木費		
	項	02	道路橋りょう費		
	目	03	道路新設改良費	分野別計画	
	事業	0100	道路新設改良事業		
分類		Ⅰ類事業			

関連するSDGs 17の目標	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ｼﾞｪﾝﾀﾞｰ	6水・衛生	7ｴﾈﾙｷﾞｰ	8経済成長と雇用	9ｲﾝﾌﾗ等
			○						
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							

２．内容

事業概要（全体）	円滑な通行と安全の確保のため、道路拡幅、交差点改良や歩道改良等に伴う、設計や工事を実施する。	事業概要（今年度）	・市道の改良に必要となる用地取得、設計委託及び道路拡幅工事等を行った。
スケジュール（全体）	・広域避難地である中垣内浜公園へのアクセス性を向上させるため、現在、西行き一方通行規制の市道を対面通行ができる2車線の道路に整備を行う。 ・市の主要施策である野崎駅周辺整備事業で、整備すべき路線として位置づけられている駅周辺道路での歩行者の安全性の向上を図る整備を行う。	スケジュール（今年度）	・工事完了 南の子川中線舗装工事他1件(10月) 住道停車場線舗装工事他1件(11月) 中垣内12号線道路改良工事(3月) 太子田萱島線道路改良2期工事(3月) 【繰越】R5寺川3丁目地内道路改良工事(3月) ・委託完了 太子田萱島線道路詳細修正設計業務委託(12月) 中垣内浜公園前線道路詳細修正設計業務委託(3月) 深野小学校南側線道路詳細設計業務委託他4件(3月) ・土地売買契約完了 【現年】R6 7月 2件　【繰越】R5 9月 1件 ・建物移転補償契約完了 【現年】R6 7月 3件　【繰越】R5 9月 1件

公民連携の視点	要件	□　ア（複数課題解決）　□　イ（地域価値向上）　□　ウ（地域経済発展） □　エ（公的負担軽減）　□　オ（自立的・持続可能）
	検討内容	道路新設改良事業は道路の新設工事等のハード整備のみの事業であり、民間事業者の創意工夫やアイデアを活かして、ソフト事業を実施して頂くフィールドを提供することが困難であることから、公民連携にはなじまない。

３．事業費等

区分			令和４年度（決算）		令和５年度（決算）		令和６年度（決算）	
事業費	内訳	報償費		0		0		0
		旅費		0		0		0
		需用費		0		39		87
		役務費		0		0		0
		委託料		18,180		22,002		50,262
		使用料及び賃借料		9		9		9
		工事請負費		25,036		120,800		99,343
		公有財産購入費		0		270		6,775
		備品購入費		0		171		0
		負担金補助及び交付金		9,192		48,759		3,626
		扶助費		0		0		0
		補償補填及び賠償金		0		3,690		27,680
		その他		0		0		0
	事業費計（千円） a			52,417		195,740		187,782
	財源内訳	国庫支出金		0		15,892		18,480
		府支出金		0		0		0
		市債		0		14,000		16,300
		その他		52,413		165,843		152,997
		うち基金繰入金		52,413		165,843		152,997
		一般財源		4		5		5
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	1.40	10,604	1.40	11,028	1.70	14,005
		再任用職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		退職手当引当金繰入額		732		805		918
		その他		0		0		0
	人件費計（千円） b			11,336		11,833		14,923
総事業費 a+b				63,753		207,573		202,705

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	15.4%	32%	市民アンケート

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
			目標値					
指標①	単年度達成率（事業費ベース）	活動	令和6年度	%	目標	100	100	100
			100		実績	58	62	64
	指標の定義	単年度における事業の達成率						
指標②	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	22	25.4	28.7
			32		実績	15.3	19.1	17
	指標の定義	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度						
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括　※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	令和6年度に予定していた道路工事及び設計委託については概ね予定通りに進捗し、既存道路の安全・安心や防災拠点へのアクセス向上に寄与した。 市道の改良に必要となる用地取得については、地権者との交渉に時間を要し、2件のみの契約となったが、今後も地権者に対し事業の趣旨を説明し理解して頂くことで、早期の用地取得に努める。

実施計画事業調書

令和６年度（決算）　　街づくり分科会Ｂ

事業名	北条踏切改良事業

１．基礎情報

所属	都市整備部	道路課	

予算科目				総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出(4)都市空間の活用
	会計	01	一般会計		
	款	07	土木費		
	項	02	道路橋りょう費		
	目	03	道路新設改良費	分野別計画	
	事業	0101	北条踏切改良事業		
分類	Ｉ類事業				

関連するSDGs 17の目標									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ｼﾞｪﾝﾀﾞｰ	6水・衛生	7ｴﾈﾙｷﾞｰ	8経済成長と雇用	9ｲﾝﾌﾗ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							

２．内容

事業概要（全体）	北条踏切は、幅員が狭く歩行空間も確保できていないため、車両と歩行者が接触する危険性が高くなっており、この状態を解消するため、踏切の拡幅を行い歩行空間を確保する。	事業概要（今年度）	事業の実施に伴い、JRなどの関係機関との協議に用いる資料の作成を行った。
スケジュール（全体）	同上	スケジュール（今年度）	北条踏切安全対策に伴う協議資料作成業務委託完了(3月)

公民連携の視点	要件	□　ア（複数課題解決）　□　イ（地域価値向上）　□　ウ（地域経済発展） □　エ（公的負担軽減）　□　オ（自立的・持続可能）
	検討内容	北条踏切改良事業は踏切拡幅等のハード整備のみの事業であり、民間事業者の創意工夫やアイデアを活かして、ソフト事業を実施して頂くフィールドを提供することが困難であることから、公民連携にはなじまない。

３．事業費等

区分			令和４年度（決算）		令和５年度（決算）		令和６年度（決算）	
事業費	内訳	報償費		0		0		0
		旅費		0		0		0
		需用費		0		0		0
		役務費		0		0		0
		委託料		0		0		500
		使用料及び賃借料		0		0		0
		工事請負費		0		0		0
		公有財産購入費		0		0		0
		備品購入費		0		0		0
		負担金補助及び交付金		0		0		0
		扶助費		0		0		0
		補償補填及び賠償金		0		0		0
		その他		0		0		0
	事業費計（千円） a			0		0		500
	財源内訳	国庫支出金		0		0		0
		府支出金		0		0		0
		市債		0		0		0
		その他		0		0		500
		うち基金繰入金		0		0		500
		一般財源		0		0		0
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	0.25	1,894	0.25	1,969	0.25	2,060
		再任用職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		退職手当引当金繰入額		131		144		135
		その他		0		0		0
	人件費計（千円） b			2,025		2,113		2,195
総事業費 a+b				2,025		2,113		2,695

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	15.4%	32%	市民アンケート

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次 / 目標値	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
指標①	事業達成率（事業費ベース）	活動	令和6年度	%	目標	100	100	100
			100		実績	28	28	28
	指標の定義	当該踏切改良事業の令和6年度までの事業達成率						
指標②	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	22	25.4	28.7
			32		実績	15.3	19.1	17
	指標の定義	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度						
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括　※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	境界確定の実施について、地権者との交渉に時間を要し、事業の実施に至らなかった。今後も地権者との交渉を継続し、早期の用地取得に努める。また、踏切拡幅が完了するまでの歩行者の安全性を確保する暫定処置として踏切内へのグリーンベルト設置について、JRと協議を行った。JRとの協議が整えば、踏切内へのグリーンベルト設置を行い、歩行者の安全性の確保に努める。

実施計画事業調書

令和６年度（決算）　　街づくり分科会Ｂ

事業名	東部地域道路整備事業

１．基礎情報

所属	都市整備部	道路課	

予算科目				総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出(4)都市空間の活用
	会計	01	一般会計		
	款	07	土木費		
	項	02	道路橋りょう費		
	目	03	道路新設改良費	分野別計画	
	事業	0102	東部地域道路整備事業		
分類		Ｉ類事業			

関連するSDGs 17の目標									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ｼﾞｪﾝﾀﾞｰ	6水・衛生	7ｴﾈﾙｷﾞｰ	8経済成長と雇用	9ｲﾝﾌﾗ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							

２．内容

事業概要（全体）	狭小な道路やアクセス性を改善することにより、東部地域全体の利便性向上を図る。 【実施期間】 平成31年度～	事業概要（今年度）	過年度に実施した土地調査をもとに、道路測量設計を行った。
スケジュール（全体）	同上	スケジュール（今年度）	七ツ橋北尾崎線道路改良設計業務委託完了(3月)

公民連携の視点		
	要件	□　ア（複数課題解決）　□　イ（地域価値向上）　□　ウ（地域経済発展） □　エ（公的負担軽減）　□　オ（自立的・持続可能）
	検討内容	東部地域道路整備事業は本市東部エリアの道路拡幅等のハード整備のみの事業であり、民間事業者の創意工夫やアイデアを活かして、ソフト事業を実施して頂くフィールドを提供することが困難であることから、公民連携にはなじまない。

３．事業費等

区分			令和４年度（決算）		令和５年度（決算）		令和６年度（決算）	
事業費	内訳	報償費		0		0		0
		旅費		0		0		0
		需用費		0		0		0
		役務費		0		0		0
		委託料		1,488		500		500
		使用料及び賃借料		0		0		0
		工事請負費		6,214		0		0
		公有財産購入費		0		0		0
		備品購入費		0		0		0
		負担金補助及び交付金		0		0		0
		扶助費		0		0		0
		補償補填及び賠償金		0		0		0
		その他		0		0		0
	事業費計（千円） a			7,702		500		500
	財源内訳	国庫支出金		0		0		0
		府支出金		0		0		0
		市債		0		0		0
		その他		7,280		499		499
		うち基金繰入金		7,280		499		499
		一般財源		422		1		1
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	0.50	3,787	0.50	3,939	0.30	2,471
		再任用職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		退職手当引当金繰入額		262		288		162
		その他		0		0		0
	人件費計（千円） b			4,049		4,227		2,633
総事業費 a+b				11,751		4,727		3,133

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	15.4%	32%	市民アンケート

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
			目標値					
指標①	単年度達成率（事業費ベース）	活動	令和6年度	%	目標	100	100	100
			100		実績	84	21	100
	指標の定義	単年度における事業の達成率						
指標②	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	22	25.4	28.7
			32		実績	15.3	19.1	17
	指標の定義	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度						
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括　※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	本市の東部地域に位置する道路の安全・安心や利便性の向上に寄与するため、地元自治会との協議を重ね、地元自治会の要望に応える成果品に仕上げることができた。当該事業を進めるには事業用地を取得（買収）などの課題もあるが、今後も狭小な道路やアクセス性を改善することで東部地域全体の利便性向上を図っていく。

実施計画事業調書

令和６年度（決算）　　街づくり分科会Ｂ

事業名	深野北谷川線新設事業

１．基礎情報

所属	都市整備部	道路課	

予算科目				総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出(4)都市空間の活用
	会計	01	一般会計		
	款	07	土木費		
	項	03	都市計画費		
	目	05	深野北谷川線新設費	分野別計画	
	事業	0100	深野北谷川線新設事業		
分類	Ⅰ類事業				

関連するSDGs 17の目標	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ｼﾞｪﾝﾀﾞｰ	6水・衛生	7ｴﾈﾙｷﾞｰ	8経済成長と雇用	9ｲﾝﾌﾗ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							

２．内容

事業概要（全体）	本市の南北を結ぶ幹線道路として、また広域避難地である大東中央公園へのアクセス道として重要な役割を担っている都市計画道路深野北谷川線の整備を行う。 【実施期間】 平成28年度～令和11年度	事業概要（今年度）	・引き続き事業用地取得に向け、土地鑑定や建物補償算定を行い、買収に伴う用地交渉を行った。 ・整備に支障となる構造物等を撤去を行った。
スケジュール（全体）	同上	スケジュール（今年度）	・深野北谷川線道路整備に伴う物件調査等業務委託完了(3月) ・深野北谷川線道路整備に伴う土地鑑定評価業務委託完了 　その1　R6年 9月、その2　R6年 10月 ・深野北谷川線道路整備に伴う谷川中学校擁壁改良工事完了 　その1　R6年 10月、その2　R7年 3月 ・深野北谷川線道路整備に伴う支障物撤去工事完了 　その1　R6年 7月、その2　R6年 7月 　その3　R6年 7月 ・深野北谷川線道路整備に伴う水道管移設工事完了(10月)

公民連携の視点		
	要件	□　ア（複数課題解決）　□　イ（地域価値向上）　□　ウ（地域経済発展） □　エ（公的負担軽減）　□　オ（自立的・持続可能）
	検討内容	深野北谷川線新設事業は都市計画道路深野北谷川線の新設工事等のハード整備のみの事業であり、民間事業者の創意工夫やアイデアを活かして、ソフト事業を実施して頂くフィールドを提供することが困難であることから、公民連携にはなじまない。

３．事業費等

区分			令和４年度（決算）		令和５年度（決算）		令和６年度（決算）	
事業費	内訳	報償費		0		0		0
		旅費		0		0		0
		需用費		0		0		0
		役務費		0		0		0
		委託料		25,231		29,176		24,348
		使用料及び賃借料		0		0		0
		工事請負費		19,975		6,592		22,714
		公有財産購入費		62,872		17,875		0
		備品購入費		0		0		0
		負担金補助及び交付金		0		0		0
		扶助費		0		0		0
		補償補填及び賠償金		81,622		8,924		0
		その他		0		0		0
	事業費計（千円） a			189,700		62,567		47,062
	財源内訳	国庫支出金		59,926		10,713		0
		府支出金		0		0		0
		市債		27,200		9,700		0
		その他		51,288		42,151		47,061
		うち基金繰入金		51,288		42,151		47,061
		一般財源		51,286		3		1
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	1.10	8,331	1.10	8,665	1.10	9,062
		再任用職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		退職手当引当金繰入額		575		633		594
		その他		0		0		0
	人件費計（千円） b			8,906		9,298		9,656
総事業費 a+b				198,606		71,865		56,718

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	15.4%	32%	市民アンケート

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次 / 目標値	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
指標①	事業達成率（事業費ベース）	活動	令和11年度	%	目標	100	100	100
			100		実績	16	19	21
	指標の定義	当該事業の完成までの事業達成率						
指標②	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	22	25.4	28.7
			32		実績	15.3	19.1	17
	指標の定義	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度						
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括　※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	令和6年度に予定していた用地取得については、地権者との交渉に時間を要し、契約に至らなかった。整備スケジュールも決まっているため、地権者に対し事業の趣旨を説明し理解して頂くことで、早期の用地取得に努め、安全・安心な道路機能の向上、防災拠点へのアクセス向上に向け、事業を実施していく。

実施計画事業調書

令和６年度（決算）　　街づくり分科会Ｂ

事業名	都市公園再整備事業

１．基礎情報

所属	都市整備部	みどり課	

予算科目				総合戦略	分野別計画
会計	01	一般会計		2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出(4)都市空間の活用	
款	07	土木費			
項	03	都市計画費			
目	02	公園管理費			大東市緑の基本計画
事業	0101	都市公園再整備事業			都市公園再整備計画
分類	Ⅰ類事業				

関連するSDGs 17の目標									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ｼﾞｪﾝﾀﾞｰ	6水・衛生	7ｴﾈﾙｷﾞｰ	8経済成長と雇用	9ｲﾝﾌﾗ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							

２．内容

事業概要（全体）	大東市緑の基本計画、大東市公共施設等個別施設計画、大東市都市公園再整備計画等に基づき、開設より20年以上が経過した都市公園について、老朽化した施設のリニューアルや地域のニーズに応じた特色ある公園づくりを行うもの。	事業概要（今年度）	西楠の里公園の実施設計等の業務や、大東中央公園多目的広場防球用フェンス設置工事、壱の坪公園・笠神公園の再整備工事等、地域のニーズに応じた再整備を進めた。
スケジュール（全体）	（再整備） ・老朽化の進んでいる15公園を令和4年度より10箇年で再整備を行う。 （駐車場） ・駐車場整備の利用状況等を確認し、令和7年度以降、引き続き管理許可により事業者が駐車場の運営管理を行う予定。 （防球用フェンス） ・大東市公園施設予約システムにより貸出を行っている5公園について、順次防球用フェンス等を整備する。	スケジュール（今年度）	・大東中央公園防球フェンス等設置工事 3月　完了 ・壱の坪公園再整備工事 2月　完了 ・笠神公園再整備工事 （繰越）R7年4月　完了 ・西楠の里公園実施設計 2月　完了

公民連携の視点		
	要件	□　ア（複数課題解決）　■　イ（地域価値向上）　■　ウ（地域経済発展） ■　エ（公的負担軽減）　□　オ（自立的・持続可能）
	検討内容	供用より長い年月を経た公園の再整備や公園の安全性向上のための防球ネットの整備等を行う。民間の有するノウハウ等を取り入れ、より魅力的な公園になるように事業を行う。

３．事業費等

区分			令和４年度（決算）		令和５年度（決算）		令和６年度（決算）	
事業費	内訳	報償費		0		0		0
		旅費		0		0		0
		需用費		0		0		0
		役務費		119		0		0
		委託料		10,618		18,106		3,527
		使用料及び賃借料		0		0		0
		工事請負費		164,567		51,171		122,873
		公有財産購入費		0		0		0
		備品購入費		0		0		0
		負担金補助及び交付金		0		0		0
		扶助費		0		0		0
		補償補填及び賠償金		0		0		0
		その他		0		0		0
	事業費計（千円） a			175,304		69,277		126,400
	財源内訳	国庫支出金		1,700		46,279		21,920
		府支出金		0		0		0
		市債		0		3,600		19,700
		その他		146,107		3,450		80,389
		うち基金繰入金		146,107		3,450		80,389
		一般財源		27,497		15,948		4,391
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	1.90	14,391	1.80	14,179	1.90	15,652
		再任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		退職手当引当金繰入額		994		1,035		1,026
		その他		0		0		0
	人件費計（千円） b			15,385		15,214		16,678
総事業費 a+b				190,689		84,491		143,078

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	24.7%	54%	市民アンケート

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
			目標値					
指標①	再整備の公園数（45公園）	活動	令和13年度	公園	目標	－	1	3
			15		実績	－	1	2
	指標の定義	再整備を実施することとしている公園のうち、整備工事が完了した公園数						
指標②	「公園整備が充実したまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	48.5	53	57.5
			62		実績	40.9	50.4	46.2
	指標の定義	市民アンケートで「公園整備が充実したまち」に対し、「満足」、「やや満足」と回答した人の割合						
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括　※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	予定していた事業については、概ね予定通り設計・工事を進めた。 地域のニーズに応じた再整備を行うため関係者と調整を図り、魅力ある公園・施設整備に努める。

実施計画事業調書

令和６年度（決算）　　街づくり分科会Ｂ

事業名	野崎駅・四条畷駅周辺整備事業

１．基礎情報

所属	都市整備部	駅周辺整備課	

予算科目				総合戦略	
会計	01	一般会計			2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出(4)都市空間の活用
款	07	土木費			
項	03	都市計画費			
目	23	野崎駅・四条畷駅周辺整備費	分野別計画		大東市都市計画マスタープラン
事業	0100	野崎駅・四条畷駅周辺整備事業			
分類	Ⅰ類事業				

関連するSDGs 17の目標									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ｼﾞｪﾝﾀﾞｰ	6水・衛生	7ｴﾈﾙｷﾞｰ	8経済成長と雇用	9ｲﾝﾌﾗ等
									○
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							

２．内容

事業概要（全体）	本市には鉄道駅が3駅あり、うち「JR住道駅」の周辺においては、以前より重点的に整備を進めてきたが、今後は市東北部の振興を図るため、「JR野崎駅」「JR四条畷駅」の周辺整備に着手する必要がある。 そのため、2駅周辺で特色ある魅力的な整備を行う。 【実施期間】 平成25年度～令和7年度	事業概要（今年度）	・四条畷駅前東線の電線共同溝整備工事 工事期間　令和6年4月～令和7年3月 ・四条畷駅前東線の道路整備工事 工事期間　令和6年12月～令和8年3月
スケジュール（全体）	同上	スケジュール（今年度）	・四条畷駅前東線の道路整備工事 12月　契約締結 1月　工事着手

公民連携の視点	要件	□　ア（複数課題解決）　□　イ（地域価値向上）　□　ウ（地域経済発展） □　エ（公的負担軽減）　□　オ（自立的・持続可能）
	検討内容	本事業は、市東北部の振興と利便性の向上を図るため、JR野崎駅及びJR四条畷駅の周辺整備を行うものである。本事業は自由通路・道路・立体駐輪場等のインフラ整備が主な施策となっており、民間の有するノウハウ等を活かすことが出来ない。よって、本事業における公民連手法の導入は不可能。

３．事業費等

区分			令和４年度（決算）		令和５年度（決算）		令和６年度（決算）	
事業費	内訳	報償費		0		0		0
		旅費		41		33		53
		需用費		643		996		844
		役務費		1,257		1,127		410
		委託料		33,026		44,989		27,008
		使用料及び賃借料		20,252		32,535		33,328
		工事請負費		616,666		405,266		143,994
		公有財産購入費		18,549		0		150,448
		備品購入費		35		11		0
		負担金補助及び交付金		279,783		61,603		212,188
		扶助費		0		0		0
		補償補填及び賠償金		8,731		121,004		20,274
		その他		0		0		160
	事業費計（千円） a			978,983		667,564		588,707
	財源内訳	国庫支出金		69,023		200,398		92,900
		府支出金		0		0		0
		市債		743,400		343,200		256,500
		その他		165,551		123,958		239,298
		うち基金繰入金		165,551		123,958		239,298
		一般財源		1,009		8		9
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	5.00	37,870	5.00	39,385	5.00	41,190
		再任用職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員(人・千円)	1.00	1,912	1.00	2,006		0
		退職手当引当金繰入額		2,615		2,875		2,700
		その他		0		31		0
	人件費計（千円） b			42,397		44,297		43,890
総事業費 a+b				1,021,380		711,861		632,597

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	15.4%	32%	市民アンケート

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
			目標値					
指標①	野崎駅・四条畷駅周辺整備における進捗率	活動	令和7年度	%	目標	71.95	81.3	90.6
			100		実績	72.4	79	84.9
	指標の定義	総事業費ベースに対する進捗率						
指標②	「快適な歩行者空間等が確保されたまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	22	25.4	28.7
			32		実績	15.3	19.1	17
	指標の定義	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度						
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括　※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	四条畷駅東側の電線共同溝整備工事（令和6年度）については、工事着手し年度内に完成する事ができた。また四条畷駅前東線整備については、令和7年度末の完成を目指し発注・着手する事ができ、駅周辺の利便性の向上と魅力ある駅前空間の創出に向け、着実に事業の推進を図る事ができた。今後については、工程の進捗管理を徹底しながら関係機関との調整を密に行い、円滑に供用開始できるよう努める。

実施計画事業調書

令和６年度（決算）　　街づくり分科会Ｂ

事業名	都市浸水対策事業

１．基礎情報

所属	都市整備部	水政課	

予算科目				総合戦略	
	会計	01	一般会計		1危機管理の徹底(3)災害時における安心の確保
	款	07	土木費		
	項	05	河川費		
	目	03	都市浸水対策費	分野別計画	大東市地域防災計画
	事業	0100	都市浸水対策事業		
分類		Ⅰ類事業			

関連するSDGs 17の目標									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ｼﾞｪﾝﾀﾞｰ	6水・衛生	7ｴﾈﾙｷﾞｰ	8経済成長と雇用	9ｲﾝﾌﾗ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○		○					

２．内容

事業概要（全体）	集中豪雨等による浸水被害を軽減するために、効果的な雨水流出抑制施設（貯留施設）を市内の小中学校に整備するものである。	事業概要（今年度）	・大東中学校校庭貯留浸透施設実施設計業務委託を実施し、設計業務を完了させた。
スケジュール（全体）	校庭貯留浸透施設整備工事（予定） R7　大東中学校 R9　深野小学校 R11 諸福小学校 R13 北条中学校 R15 泉小学校 R17 三箇小学校 R19 四条小学校	スケジュール（今年度）	・大東中学校校庭貯留浸透施設実施設計業務委託 5月　入札 6月　契約 2月　完了

公民連携の視点		
	要件	□　ア（複数課題解決）　□　イ（地域価値向上）　□　ウ（地域経済発展） □　エ（公的負担軽減）　□　オ（自立的・持続可能）
	検討内容	本事業については、収益が見込まれない事業であるため導入は不可である。

３．事業費等

区分			令和４年度（決算）		令和５年度（決算）		令和６年度（決算）	
事業費	内訳	報償費		0		0		0
		旅費		0		0		0
		需用費		0		0		0
		役務費		0		0		0
		委託料		5,621		424		7,480
		使用料及び賃借料		0		0		0
		工事請負費		998		67,123		0
		公有財産購入費		0		0		0
		備品購入費		0		0		0
		負担金補助及び交付金		0		0		0
		扶助費		0		0		0
		補償補填及び賠償金		0		0		0
		その他		0		0		0
	事業費計（千円） a			6,619		67,547		7,480
	財源内訳	国庫支出金		1,000		14,000		1,000
		府支出金		0		0		0
		市債		1,800		25,200		1,800
		その他		0		13,059		0
		うち基金繰入金		0		13,059		0
		一般財源		3,819		15,288		4,680
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	0.50	3,787	0.50	3,939	0.50	4,119
		再任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		退職手当引当金繰入額		262		288		270
		その他		0		0		0
	人件費計（千円） b			4,049		4,227		4,389
総事業費 a+b				10,668		71,774		11,869

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	24.7%	54%	市民アンケート

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
			目標値					
指標①	市内小中学校校庭貯留施設の整備率	活動	令和19年度	%	目標	60	65	65
			100		実績	60	65	65
	指標の定義	市内小中学校校庭貯留施設整備を行う予定の全20校のうち、整備が完了した箇所数						
指標②	「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	36.4	42.3	48.1
			54		実績	36.1	39.3	34.5
	指標の定義	「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度						
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括　※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	予定どおり実施設計業務を完了させた。令和7年度は工事を早期に発注し、上半期での竣工を目指す。

実施計画事業調書

令和６年度（決算）　　街づくり分科会Ｂ

事業名	水路整備事業

１．基礎情報

所属	都市整備部	水政課	

予算科目				総合戦略	
	会計	01	一般会計		1危機管理の徹底(3)災害時における安心の確保
	款	07	土木費		
	項	05	河川費		
	目	05	河川改修費	分野別計画	大東市地域防災計画
	事業	0100	水路整備事業		
分類		Ⅰ類事業			

関連するSDGs 17の目標									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ｼﾞｪﾝﾀﾞｰ	6水・衛生	7ｴﾈﾙｷﾞｰ	8経済成長と雇用	9ｲﾝﾌﾗ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							

２．内容

事業概要（全体）	地域の実情を十分に把握し、地域住民の快適な生活を実現するための水路整備などを実施することで、水路の環境改善を図り、市民に親しまれる水辺環境を創出することを目的としたものである。	事業概要（今年度）	・新田1号水路の未整備区間である大坪橋橋梁下を整備した。
スケジュール（全体）	水路整備工事（予定） H28～R6　新田地内水路整備 R8 ～R9　太子田地内水路整備 R9 ～R10　赤井地内水路整備	スケジュール（今年度）	・大坪橋橋梁下整備工事 9月　入札 10月　業者決定 11月　工事開始 1月　工事完了

公民連携の視点		
	要件	□　ア（複数課題解決）　□　イ（地域価値向上）　□　ウ（地域経済発展） □　エ（公的負担軽減）　□　オ（自立的・持続可能）
	検討内容	本事業については、収益が見込まれない事業であるため導入は不可である。

３．事業費等

区分			令和４年度（決算）		令和５年度（決算）		令和６年度（決算）	
事業費	内訳	報償費		0		0		0
		旅費		0		0		0
		需用費		0		0		0
		役務費		0		0		0
		委託料		994		2,580		0
		使用料及び賃借料		0		0		0
		工事請負費		3,960		0		8,992
		公有財産購入費		0		0		0
		備品購入費		0		0		0
		負担金補助及び交付金		0		0		0
		扶助費		0		0		0
		補償補填及び賠償金		856		0		0
		その他		0		0		0
	事業費計（千円） a			5,810		2,580		8,992
	財源内訳	国庫支出金		0		0		0
		府支出金		0		0		0
		市債		0		0		0
		その他		0		0		8,991
		うち基金繰入金		0		0		8,991
		一般財源		5,810		2,580		1
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	0.00	0	0.30	2,363	0.30	2,471
		再任用職員(人・千円)	0.10	414	0.00	0	0.00	0
		任期付職員(人・千円)	0.50	1,906	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		退職手当引当金繰入額		0		173		162
		その他		0		0		0
	人件費計（千円） b			2,320		2,536		2,633
総事業費 a+b				8,130		5,116		11,625

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	24.7%	54%	市民アンケート

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次 / 目標値	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
指標①	水路整備工事の推進	活動	令和10年度	%	目標	66	72	72
			100		実績	61	61	62
	指標の定義	水路整備工事を行う予定延長L=1,500mのうち、整備工事を行った延長						
指標②	「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	36.4	42.3	48.1
			54		実績	36.1	39.3	34.5
	指標の定義	「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度						
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括　※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	大坪橋橋梁下の整備をし、新田地内水路整備をすべて完了させた。令和7年度は、地元自治会等との調整を行う。